



しんじょう中学校通信

～仲間とともに高めあい 豊かな学びと心を大切にする学校～

感謝の気持ちを忘れずに

新しい年も、あっという間に1か月が経とうとしています。新型コロナウイルス感染症の第6波は、すごい勢いで広がり学校現場にも大きな影響を及ぼしています。学年末の締めくくりや3年生の進路選択、入学試験などの予定が詰まっていますので、この先のことを考えると心配なことも多いですが、自分たちにできる感染症対策を継続していくことが何よりも大切です。「絶対 大丈夫」という言葉が今年のプロ野球で流行りましたが「きっと なんとかなる」と自分に言い聞かせて強い気持ちを持って過ごしていきたいですね。そのような中ですが、中学生のみなさんの元気な挨拶の声を聞いたり、給食時の旺盛な食欲などを見ていると本当に元気をもらえます。若さ溢れるみなさんのエネルギーは、この厳しい局面を乗り切っていくために何よりも必要なことかもしれません。健康管理に最善を尽くして、ともに頑張っていきましょう。



さて、最近見た光景の中で心に残ったものを紹介します。

校長室からの眺めは、とても素晴らしく、広々としたグラウンドが視界に入ってきます。ふと、グラウンドを見てみると、寒空の下、黙々と草刈り機を動かし環境整備に努めていただいている姿が目に入ってきました。毎日繰り返し、グラウンドの隅々まで美しくしていただいています。また、掃除の時間に校舎内を歩いてみると、小さなほうきとちり取りを持って、階段の隅にたまったごみを丁寧にとっている生徒の姿も目にしました。

多くの方が、美しい学校にしようと一生懸命に取り組んでくれています。たくさんの人の、小さな積み重ねがあってこそ学校は成り立っているのだと改めて感じました。

「陰で支える」という言葉がありますが、昔の人は、「陰での支えがないと当り前の日常はない」ということを思い、陰に敬意を表し言葉の前に「お」をつけ、さらに「様」をつけて「お陰様」ということばを作ったそうです。

「なるほどな」と思うと同時に、自分のことだけしか見えなくなることに気をつけなければと感じました。みなさんのまわりにも、きっと自分を応援してくれている人、支えてくれている人がいますよね。自分では、気づいてないところで自分の背中を押してくれている人が必ずいることなのでしょう。そんな思いを感じつつ、自分の力で一步踏み出してくれることを願っています。

中学校給食がスタートしました！

1月11日（火）より中学校の学校給食がスタートしました。小学校での経験はあったものの、さすがに初日の準備には手間取りましたが、2日目からは比較的スムーズに準備が進み、ほぼ想定内の時間（4時間目終了後15分）で済みました。中学生の順応性や手際の良さに驚くと同時に、ほっと、ひと安心をしました。味の方も、和食中心のメニューで、おいしくいただいています。クラスによって多少の差はあるようですが、量が足りずに増量をお願いしたり、男女を問わずにおかわりをしているなどの話を聞くと、からだづくりが進むとともに、自由で楽しい昼食の時間になっているようでうれしい気持ちになります。しばらくは「黙食」を続けなければいけません。給食の時間が、少し肩の力を抜いてホッとした時間になることを願っています。また、たくさんの感謝の気持ちも育んでいきましょう。



アンサンブルコンテスト 県大会に出場！

1月15日（土）、守山市民ホールで行われた県大会に管楽8重奏のメンバーが出場しました。12月の予選会では、帰りの駅のホームで県大会出場のお知らせが届き、驚きや喜びにあふれたそうです。当日は練習を重ねてきた「ていーちていーる ～沖縄民謡による～」を演奏し、大きな舞台での貴重な経験になったことと思います。次なる目標を定めて、切磋琢磨し練習に励んでいってください。

英語学力調査（1.2年生）を行いました！

調査は1時間の筆記調査とタブレットを使ったスピーキング調査の2つです。スピーキング調査では、各自がヘッドセットを着用し、タブレット画面の絵を見たり、話される内容を聞いて英語で答えていました。調査時間は15分程度でした。において、柔軟に対応しながら表現する力が必要だなど改めて感じました。



がんばれ3年生 面接練習を行っています！

入学試験が近づいてきました。3年生の面接練習は、計画を立て直し練習を行います。緊張はするでしょうが、それに負けないくらいの準備をして、何よりもコンディションを整えて臨んでください。